

過去3年間 トラック事故の特徴 “追突事故”が多い

- 車両同士の事故** ⇒ **全事故の90%**
- 三大多発事故** ⇒ ①**追突**②**交差点出合い頭**③**交差点右左折時**…**全事故の75%**
- 追突事故** ⇒ **全事故の50%**

●“追突”事故の発生原因とその対策

- ①追突多発の原因とその「落とし穴」
 - 追従走行は…**圧迫感がなく**、「**安心感**」と「**油断**」からくる、「**車間距離不足**」
 - 車間距離**…**「目測」**の落とし穴と、正しい「**車間距離**」の測定
- ②「**低速追従時**」の危険
 - 「**低速時**」の運転者の心理…「**わき見**」と「**漫然運転**」
 - 「**わき見**」の実態…「**チョット**」目を離している間、**どれだけ前に進んでいるか?**
- ③大型車による、乗用車への追突事故多発
 - 「**高い**」運転席の位置…「**見通しが良い**」⇒前方の乗用車を越えて、その前の車両に目が…

●「追突防止」の決め手

- ①運転中の3つう警戒
 - 「**わき見運転**」
 - 「**漫然運転**」
 - 「**思い込み運転**」(あせり)
- ②「**低速追従時の危険**」
 - 追突事故の**70%**が「**市街地**」で発生
 - その内…**90%**が「**40km/h以下**」で発生
 - 更に…**60%**が「**20km/h以下**」で発生
 - 追突事故の**80%**が「**停止している車両**」に追突
- ③「**低速追従時の危険**」を**意識**する
低速で追従するときは…
 - 極端に「**車間**」をつめない
 - 低速走行に「**安心して**」…長い「**わき見**」をしない
 - 「**肝心なもの**」を見る、「**注意力**」を養う
- ④「**車間距離**」の「**時間測定法**」 ~4秒の車間~
 - (1)前の車が、「**目標物**」を通過したら、「**ゼロ1、ゼロ2、ゼロ3、ゼロ4**」と数える
 - (2)自分の車が、その「**目標物**」へ到達しなかったら、「**4秒以上の車間**」となる
 - (3)スピードが出ていても…、**ゆっくりと**、「**ゼロ1、ゼロ2、ゼロ3、ゼロ4**」と数える
 - (4)「**道路状況**」、「**天候**」、「**積荷の状況**」により、「**4秒以上のカウント**」を行う
 - (5)「**停止時**」は、「**4m以上の車間距離**」をとること